

えんだより

2023年

8月号



NO.209

シャローム三育保育

新型コロナウイルスとの“共生”が始まって3ヶ月が経ちました。今年は3年ぶりに制限の無い夏を迎え、夏ならではの計画を立てている方もおられると思います。すべて個人の判断に委ねられる中で、これまでの経験を活かしつつ、夏の楽しい思い出をたくさん作る事が出来ますように。

園長 村上 渉



避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。

今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4 くま組お泊り保育	5
6	7 礼拝 英語教室	8	9 避難訓練	10	11 山の日	12
13	14 礼拝	15	16	17	18	19
20	21 礼拝 英語教室	22	23	24	25 保育園職員会議	26
27	28 礼拝 英語教室	29 体操教室	30 誕生会	31		



「8月を想う」

◇昨年の8月は新型コロナの第5波がありました。あれから1年が経ち、今年は行動制限の無い夏を迎えています。様々な制限から解放され、これまでの分も楽しみたいという気持ちもありつつ、感染症が無くなったわけではない中での不安もあります。本当の意味での共生が始まったと実感しています。みなさんは如何でしょうか。

◇8月15日は78回目の終戦の日です。戦争体験を語れる方も年々減少して直接話を聞く機会も無くなってきました。我が国では78年間もの間戦争をしてこなかったことは本当に誇れることですが、この年月を持って戦争によって受けた被害や犠牲となった人々の家族にとって、決して癒えることのない大きな傷跡がある事を忘れてはいけません。そして、この時代に生きている私たちは、同じ過ちを犯すことのないように後世に伝えていく役割があります。

◇8月と言えば“お盆”。「盆と正月が～」と言われるように、お正月とお盆はこの国の一大イベントです。親族が集まる。近況を確かめ合う。昔話に花が咲く。一家のルーツを確認する。子どもたちの成長を喜び合う。などなど楽しい時間を過ごしたいですね。そして、先祖を祀る。

子どもたちにとっても、自分のルーツであるその土地の文化や伝統に触れることはとても大切な事です。



私たちはみんな生まれた事に意味があり、必要とされ生かされています。生かされている事への感謝を持てるように。夢と希望を持った人生を送れるように、私たちは全力で子どもたちの“いのち”を守り、子どもたちの思いを大切に保育をしていきます。

園長